

令和2年度第5回社会教育委員の会議

令和2年11月16日(月)

午前9時30分開会

開催日時	令和2年11月16日	開会 9時30分 閉会 10時38分	
場 所	小金井市役所第二庁舎8階801会議室		
出席委員	議 長 原田 隆司 副 議 長 柴田彩千子 委 員 所 夏目 委 員 石原 芳 委 員 富田謙次郎	委 員 城 瑞枝 委 員 長坂 寛 委 員 諏訪 啓二郎 委 員 福井 高雄 委 員 森本 榮子	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 藤本 裕 生涯学習課長 関 次郎 生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 内田 雄介	図書館長 菊池 幸子 公民館長 小野 朗	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 1名		
傍聴者人数	1名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第4次生涯学習推進計画について (2) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第5ブロック研修会について (3) その他
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会 (2) その他

原田議長 おはようございます。定刻になりました。皆さんおそろいになりましたので、第5回の社会教育委員の会議を開催いたします。
まず、資料の確認です。小堀さん、お願いいたします。

小堀生涯学習係長 おはようございます。

資料の確認をさせていただきます。本日、第5回の次第、資料1、第4次小金井市生涯学習推進計画における目標（基本理念）について。資料2、第4次小金井市生涯学習推進計画素案、右上に2020.11.16と書いてあります。資料3、第5ブロック研修会の検討事項等について。資料4、令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会。裏面になります。資料5として、令和2年度社会教育委員の会議等の今後の日程について。それから、原田議長から結城座さんの記事があったということで、それを資料としてつけさせていただきます。あと委員の方にはこうみんかんの資料と、あと社協連会報が一部ずつ入っています。

以上です。

原田議長 ありがとうございます。

それでは、議題第1、第4次生涯学習推進計画についてということで、資料は1の基本理念について、資料2の素案、これを御覧ください。

まず、資料の順番で基本理念について、資料1を御覧いただきますと、真ん中にこれまでの会議で皆様委員から出された案が14個並んでおります。これを基に、事務局とそれからジャパン総研さんのところで幾つかの案を作ってくださいました。その上で、先日の小委員会でその原案を基に議論をいたしまして、この紙の一番下、案が3つあります。これがまとまりました。今日はこれの中から選んでいただくといえますか、皆様の御意見をいただいて、御検討いただいた上で1つに絞りたいというふうに考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

読み上げます。案の1、「誰もが学びでつながる笑顔のまち小金井」、副題に「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」、案の2、「いつでも どこでも いつまでも 学び合えるまち小金井」、副題が「～今や人生100年時代～」、案の3、「学びでつながる笑顔のまち小金井」、副題が「～人生は100年時代～」ということで、

長い短いいろいろ変化をつけて案を3つ作りました。それぞれ14の案のエッセンスを盛り込む形で、それから標語らしい形で市民の皆さんに届くような文章にしようということで検討いたしました。

人生100年時代という言葉が御提案の中にも幾つかありましたので、それを副題に盛り込んでいると、こういう考え方であります。

以上3つ、小委員以外の方で、御意見、御感想あるいは御質問があれば伺いたいと思いますが、富田さん。

富田委員 僕は、案の3がいいと思うんですが、案の1であれば「誰もが」というのが入っていると、案の3は「誰もが」というのが入っていないんですけれども、今回は入ってなくてもいいと思うんですよ。

その代わり、この副題のところが「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」、これがいいなと思います。だからちょっと折衷案になっちゃいますけれども、1プラスの3ぐらいがいいと思います。

原田議長 富田委員の御意見は、メインは案の3、「学びでつながる笑顔のまち小金井」、副題に案1の「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」という組み合わせでどうだろうか、という御意見です。

所委員はいかがでしょう。

所委員 私も案1か案3がいいなと思いました。案1の場合は、ちょっと「誰もが」というのが気になるなというところがありまして、案3の「学びでつながる笑顔のまち小金井」がずっと頭の中に入ってきていいなというところと、副題のほうは、「～人生は100年時代～」、もしくは先ほど富田委員がおっしゃられた「さあ、動き出そう！」を入れてもいいかなと思いました。

原田議長 ありがとうございます。

諏訪委員はいかがでしょう。

諏訪委員 小学生でも分かりやすいという意味で案2がいいかなと、仮名が多いという点ですね。副題についてはこれで結構だと思います。

原田議長 諏訪委員は案の2を薦めているんですね。
それから、石原委員はいかがでしょうか。

石原委員 ぱっと見で副題は、1がすごいやっぱりぐっと入ってきたかなという、第2次、第3次でいろいろ書いてあるので、じゃあ次何をしようかといったときに、じゃあ動き出さなければいけないんじゃないかなというのがすごくぱっと見で「さあ、行こう！」という感じになるので、すごい1の副題は入ってきたかなというのと、皆さんと同じで、お題は「誰もが」というのが1だとちょっと引かかるところもあるので、そこはなくして、ただ「学びでつながる笑顔」というのはやっぱりメインに掲げていってもいいんじゃないかなと、小金井らしさというか、出ているんじゃないかなと思うので、それがいいんじゃないかなという。子どもは漢字があると見にくいでしょうけれども、そこまで考えなくても親がしっかり読んであげれば分かるかなというところもあるので、何かぱっと入ってきたのは1が入ってきて、でも、ちょっと「誰もが」というところが引かかるので、そこはなくしていけばすごくいいんじゃないかなというふうに思いました。

原田議長 ありがとうございます。小委員のメンバーで補足の意見がありましたらお願いしたいのですが、福井さん、今までの意見も踏まえまして、いかがでしょう。

福井委員 私も案3の「誰もが」がないほうと、あと副題のほうで「さあ、動き出そう！」ということを提案させていただいたということで、富田委員、所委員が言われたように、案3の主題と案1の副題の「さあ、動き出そう！」というところをミックスさせたところを目標理念という格好で推薦しておきたいと思います。

原田議長 ありがとうございます。
森本委員、いかがでしょうか。

森本委員 私は、案2の「いつでも どこでも いつまでも 学び合えるまち小金井」ということで、また人生100年時代という言葉が、いろいろな場所に出てきており、さあ、もう動き出そうという感覚も

持っておりますので、「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」と、案2と案1の組み合わせはいかがかと、今この3つを提案していただいた上で、そんな感覚です。

原田議長 森本委員の御意見は、メインは案の2を取って副題は案の1と、
こういうことですね。
長坂先生、どうぞ。

長坂委員 私は第3案がいいと思います。1番と似ているんですけども、
それから1番は「さあ、動き出そう！」というのは気になります。
今頃こういうことに取り組んでいるんですか、始めたんですかとい
うのをさらけ出しているようで、これは書く必要ないなと思います。
第2案は、もうこれは生涯学習の基本ですよ、だからこれはあり
ふれているという意味では簡単で、1番か3番かとなると、3番の
ほうが「誰もが」がないですから、ないほうがいいと思います。そ
ういう意味で第3案がよろしいんじゃないかと思っています。

原田議長 ありがとうございました。
それでは、城委員はいかがでしょうか。

城委員 私も今の先生と一緒に、案3の「学びでつながる笑顔のまち小金
井」で、「～人生は100年時代～」、この言葉だけでいいのかなと
思って、いろいろなことがここに入らないほうがいいんじゃないか
なと思うので。

原田議長 ありがとうございました。
柴田先生、いかがでしょうか。

柴田委員 私は案3がいいのではないかと思います。「笑顔」というフレーズ
が入っているのが案1と案3ですけども、このたびの小金井市の
長計の第5次小金井市基本構想にも「増やそう笑顔」というふうに入
っていますので、それとそろえるという形で「笑顔」というのが
いいのかなと思いました。

原田議長 ありがとうございました。

これまでの議論で、まずメインのほうは、案3、「学びでつながる笑顔のまち小金井」、案の1を推した方も「誰もが」が要らないんじゃないかという御意見でしたので、ここのところは「学びでつながる笑顔のまち小金井」が大勢を占めているんじゃないかというふうに思います。

副題のほうは、二つに分かれました。「さあ、動き出そう！」というのをつけるか、あるいは「～人生は100年時代～」とさっとやるというのがいいのか、これちょっと今決められない状態でございますが、これについてメインは取りあえず「学びでつながる笑顔のまち小金井」として、副題をどうするか、これについてさらに御意見をいただきたいと思いますが。

どうぞ。

富田委員

人生100年時代というのはもう大分前から言われているので、ここでもし私どもとして出すのであれば、もっと簡単にするのであれば、私としては「健康人生100年時代」とかというふうな形になればいいなと思います。「さあ、動き出そう！」でもすごく語呂はよかったですね、今頃のこのことね、長坂先生おっしゃったものですから、そう言われればそういうふうにも捉えられるなど、そしたらやっぱり生きるだけじゃなくて、やっぱり健康に人生有意義に過ごしたいなど、「健康人生100年時代」というのを私は入れてみたいなと思います。

原田議長

ありがとうございました。

小委員会の議論では、この「さあ、動き出そう！」という趣旨ですけれども、これはようやく市が動き出すという意味ではなくて、市民がこれを機会に生涯学習が自分と関係ないと思っていた人も含めて「さあ、動き出そう！」と、呼びかけようという趣旨であります。

これがあるのか要らないのか、あるいは違う言葉を交ぜたような「健康人生100年時代」というような言葉にするのか、様々な御意見あろうかと思いますが、ほかの皆さん、いかがでしょうか。

所先生。

所委員

上の基本理念の案の検討のところの中に幾つか「楽しむ」という

言葉が入っているので、「人生100年時代を楽しむ」という形で副題を作ってもいいのかなと思いました。

原田議長 新たな案で、「人生100年時代を楽しむ」ということですね。

所委員 はい。

原田議長 ほかにいかがでしょうか。

今、選択肢としては、この案にあります「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」、「～人生は100年時代～」、そして新たな御提案で「健康人生100年時代」、それからただいまの「人生100年時代を楽しむ」という今4つの案が出ました。いかがでしょうか。

どうぞ。

福井委員 福井です。委員の方の御意見はある程度、先ほど「健康人生100年時代」とか「人生100年時代を楽しむ」とかという言葉自体がちょっと固いかなということで、当然標題のところは固い文字でもいいんですけども、少しアクション的な標題があったほうがいいんじゃないかということで、「さあ、動き出そう！」というフレーズが標題にあれば次も見ただけのだろうし、当然生涯学習ということで、人生100年時代に取り組もうじゃないかというような、大きなアクションを動かそうという動的なところを加味した文章として、副題として提案させていただいたということで、あまり表紙のところは固い漢字ばかりとか形式にこだわることなく、もう少し遊び心的な動的な言葉も必要じゃないかなという思いはいたします。

以上です。

原田議長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

福井さんは、この「さあ、動き出そう！」というような表現が入るか入らないかという点でございます。意見が分かれていますけれども。

石原委員は、さっきは1の副題をお取りになったんですね、今ま

でのお話を聞いていただいていたかがでしょう。

石原委員 そうですね、変えていただくのもいいかなと思うんですけども、やっぱり市民全体に伝えていくなら私たちが動いているだけでは足は止まってしまうんじゃないかなという意味で、やっぱり「動き出そう！」と書くことで、じゃあ前に進んでいきましょうという意味もあるのかなと思うので、私たちからすると遅いかもしれないという発想にはなるかもしれないんですが、今動いていない人たちに何かを伝えていくのであれば、やっぱり前進という意味で、進もうとか動こうということを入れたほうがもっと伝えていけるというか、固くこうしようという感じの副題よりは、みんなで一緒に動いていきましょうというほうが伝わりやすいのではないかなというふうには思っています。

原田議長 ありがとうございます。市民に呼びかけるという御提案ですね。

石原委員 はい。

原田議長 諏訪委員は、これまで聞いていただいていたかがですか。

諏訪委員 基本理念ということで考えると、方向性を出していくか、ある程度限定するのか、それとも受け取る人はいろいろな受け取り方をしますからそれに見合うようにシンプルにしたのか、どちらかだろうと思うんです。

私の考えとしては、スローガンだからシンプルなほうがいいんじゃないかなと。だから、そういう意味では副題は「人生100年時代」に限っちゃうという手もあるかなとは思いますが。ただ、皆さんの御意見に従いますので、自説に主張しません。

原田議長 ありがとうございます。

なかなか決め難い副題に分かれますね。簡潔にしたほうがいい、あるいは呼びかけたほうがいいというどちらも趣旨としてはあれですけども、これはどうしましょうかね。

これは小堀さん、ここでお預けしちゃうよりは我々の中で、ここで決めたほうがいいですよ。

小堀生涯学習係長 できたらそうしていただきたいです。

原田議長 市としてどっちがありがたいとか、うれしいとかそういうことはないですね。

市の政策として何か御意見があれば、こういう方向のほうがいいのではというのがあれば教えてください。

藤本生涯学習部長 私も皆さんの意見に同意するんですけども、案3の「学びでつながる笑顔のまち小金井」ということで、「～人生は100年時代～」ということもこの中の施策にも方向性にも書いてありますので、この言葉も必要だなとは思いますが。

ただ、問題はこの「さあ、動き出そう！」を入れるか入れないかというところになっていると思いますので、そのところは皆さんの判断で何とかここで答えを出していただければというふうに思っています。

原田議長 分かりました。これまで様々に御意見がありましたので、ここは多数決をさせていただいてよろしいですか。

「さあ、動き出そう！」を入れるか入れないか。「さあ、動き出そう！」という呼びかけを入れたほうがいいと思う方、お手を挙げてください。5人ですね。簡潔に「～人生は100年時代～」のほうが良いという方。5対4で微妙ですけども、じゃあ、私も入れさせていただきます。私は、これまでの標語にあまりこういう呼びかけ調がなかったので、こういうを入れたほうが新鮮かなと思いますので、「～さあ、動き出そう！人生100年時代～」に手を挙げさせていただきます。6対4で僅差ですが、よろしいでしょうか。

では、異議なしということで、決定いたしました。「学びでつながる笑顔のまち小金井～さあ、動き出そう！人生100年時代～」のようにさせていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、次に資料の2を御覧いただいて、生涯学習推進計画素案ということで、これは14ページまでがまだ1回も議論していないので、そこまで御説明をいただくということでよろしいでしょうか。

小堀生涯学習係長 前回お出しした素案に、てにをはとか文言の修正の他に、大きく追加させていただいたのは5ページの小金井市の動向の網かけでちょっとグレーになっているところです。ここを少し平成30年以降の障害者差別解消条例とか、あとは社会教育委員の会議で提案した提言について、それを基に、学校運営協議会を設置したコミュニティ・スクール、そして地域学校協働活動、その辺りと、あと第5次小金井市基本構想・前期基本計画の中で、SDGsのことを掲げているところもありますので、そこをちょっと追記しております。

次の6ページのところも同じように今言ったところを、表のほうにも追記している状況です。

文言についてはまだちょっと修正を加えたいと思っておりますので、こちらについては12月に一応会議を予定しております、そこまでの間でメール等で御連絡になることもあるかと思うんですけども、お送りしたものを改めて見ていただいてという形で整理させていただきたいと思えます。

それと、前回と変わったところということで、17ページ以降の第4章、施策の展開のところで、第4章、施策の展開、次に、施策の方向性1、誰もが生涯学習に親しむ環境づくり、そして、施策の柱1-1、0歳から始まる生涯学習のその下に、ほかの柱のところもそうなんですけれども、その後につながる市の事業等についての説明書きを加えています。加えたところは網かけになっているところが追記したところになっておりますので、それぞれ施策の柱のところを1-1、1-2という形で順番に事業のところの説明だったり施策の柱の説明というところでそちらを入れて、少し文章で分かりやすく表現できるようにということで追加しています。

それは、施策の柱全てになる形になっておりまして、あと大きく言うほどかどうかわれなんですけれども、34ページのオンラインを活用した多様な学習機会づくりの推進なんですが、こちらは以前お配りしたときには、電子書籍サービス、消費者講座（WEB講座）、消費者スクール（WEB講座）の3つの事業名だけが載っていたんですけども、もう少しオンラインに関わる部分のところも加えて関係する事業を追加しています。

もう少し進んでいただいて、44ページなんですけれども、こちらは以前御意見がありました17番と18番、17番が地域人材の活用と支援者・リーダーの育成の促進で、18番、生涯学習の市外

との広域連携の推進というところで、これが逆になっていたのも、反対のほうがいいんじゃないかという御意見があったので、これは入れ替えています。

あと、47ページのところは、書き方の問題もあるかなと思ってちょっと悩んでいるんですけども、社会教育施設等（図書館・公民館・スポーツ施設）の活用の継続なんですけど、こちらがその施設の名称が入って、そこにどういったことを市がやっているかということが書いてあるんですけども、それをイコール事業名と言っていいのかというところがあって、今ちょっと一旦、施設名・事業名と左上の表のところを変えているんですけど、ほかのところは全部事業名になっていて、ここだけそういう形にしているので、ちょっとまだ統一的にあくまでも事業名としておいて、内容を少し修正したほうがいいのか、施設名ということでその施設としてどうしているかということを書いていいかというところは、少しまだごめんなさい、これから検討をさせていただきます。

大きく修正、追加したところは以上になります。

原田議長

ありがとうございました。そうすると、12月にもう1回委員会があるということで、それまでのところでこれを今日はお持ち帰りいただいて読み込んでいただいて、お気づきのところはメールなり電話なりで御連絡いただくと、こういうことでよろしいでしょうか。

今日の時点で何か質問、御意見等ございましたらお出してください。よろしいですか。

先ほど議論した基本理念については、13ページの空欄に入るということでよろしいですね。それで、多少この理念についての説明文も欄外のここに入ると考えてよろしいでしょうか。

小堀生涯学習係長 そうです。

原田議長

そうですね。では、これについては今日お持ち帰りいただいて読んでいただくということでよろしゅうございますか。それでは、議題1については以上でございます。

次に議題の2、来週に迫りました第5ブロック研修会についてということで、小堀さん、資料3の御説明をお願いします。

小堀生涯学習係長 前回お配りしたものとそれほど大きく変わっていないんですけども、本日全員の方が会議に出席されていますので、改めて当日の出欠と、あと出席される方の中の役割分担を、もう決まっているところもあるんですが、決まっていないところについては埋めていただきたいと思います。あと書いていないんですけども、各市の発表のときにマイクは持ち回らず、前に出てきてもらって話していただくという形でいいですか。

原田議長 そのほうがいいですね。

小堀生涯学習係長 はい、わかりました。そうであれば、特に役割として追加はありません。

原田議長 前に出てきていただいて、できれば1人終わるごとに消毒したらいいかもしれませんね。

小堀生涯学習係長 そうですね、そのほうがいいですかね。あと2番のタイムスケジュールのところ、一番上の9時のところに原田議長を入れてしまっていますが大丈夫でしょうか。

原田議長 大丈夫です。

小堀生涯学習係長 ありがとうございます。ちょっと早くて申し訳ないんですけども。社会教育委員の皆さんは、受付が13時半開始なので、12時半に集合していただいて、そこで設営や当日の動きの確認等をしていただきたいと思います。

流れはそちらに書いてあるとおりで、終了が一応16時、早く終われば早く終わったにこしたことはないと思いますので、終わり次第、全員で片づけをしてということになります。裏面が当日の次第の案になります。これは参考につけさせていただいています。

以上です。

原田議長 ありがとうございます。あと当日の配布資料としては各市からの報告がありますね。

小堀生涯学習係長 はい。

原田議長 それから、結城座さんの何か配付資料はありますか。

小堀生涯学習係長 ちょっと今日はつけていないんですけども、福井委員から参考でいただいたものがありまして、今、結城座さんにそういう形で御紹介していいかというのを見てもらっています。講師についても追加で記載していただくことがあればお願いしますということを依頼しておりますので、それをまとめたものを1枚にして、資料としてお配りしたいと思っています。

原田議長 まず、この日、出席できないという方はこの中でいらっしゃいますか、今日、全員いらっしゃいますね。よろしいですか、皆さん全員いらっしゃるとうことでいいでしょうか。

城委員 すいません。その前、私も朝の10時から司会をするので、全体の流れを知りたいので先に来てもよろしいですか。

小堀生涯学習係長 はい、もちろんです。

城委員 お願いします。

原田議長 よろしくをお願いします。では、城さんも午前中からいらっしゃる。それでは、今言いかかりました結城座さんの講演の最後のほうで実際に人形を操っていただくというか、1名、私やりたいという方いらっしゃれば。

富田委員 はい。

原田議長 早い者勝ちでいいですか。先着1名で、では、富田さんに人形体験ということで。

それから、受付2名というのは、これは生涯学習課の方と一緒に受付をすると考えていいんですか。それとも2人だけでやるんですか。

小堀生涯学習係長 職員はいろいろやることがありまして、社会教育委員の方だけでお願いしたいと思います。

原田議長 これ各市の出席者の名簿があつて、お名前を伺つて資料を渡してチェックする。

小堀生涯学習係長 そうですね。

原田議長 それから、検温とかはやりませんか。

小堀生涯学習係長 それもお願いします。検温と手指の消毒もこの受付でやってしまいますので。

原田議長 そうすると、2名でできるかな。
どうぞ。

福井委員 福井です。今、検温等云々って言われたんですけども、例えば、後でまた報告しますが、町田の受付の場合は、名簿表の中に市の名前と個人名と、あとチェック欄というのが同じ行に設けておられて、検温は済ませられましたかというのを確認して、万が一していませんという方だけ検温をするということで、基本的に誰も検温をしないでチェック項目だけで確認されたということと、マスクというのも当然受付で分かりますから、レ点を打つということで、消毒だけをテーブルの上に置いているということで、あえて人がそういう検温とか対応というのはしなかった例も一つあるということで、その辺の動きも加味して、あくまでも検温をしなくてはいけないというんだったら人は1人必要かとは思うんですけども、チェック対応で、受付で全てレ点で処理したという経緯もあります。

原田議長 これは市によってイベント、集会等の対応が違ふと思います。何か小金井市は決まりはありますか、検温はこうしなさいっていう。

藤本生涯学習部長 小金井市においても他市と同じですが、東京都で掲げている新しい生活様式を守るとともに、イベント等の対応というところでは様々なイベントがありますが、今の状況ですが、ちょっと前10月

の段階だったら東京都のモニタリングの分析でも感染の拡大に警戒が必要というレベルから現在の感染が拡大しつつあると思われるに表現が変わっており、また1週間ごとの東京都の感染者数を見ても、例えば3週間前でしたら1,000人ぐらいだったのがそこから次の週には1,100人、次の週には1,400人、次にはまたプラス600人ぐらい増えてきたとか、全体的に上がっていて、小金井の近隣8市全体でもやはり増えてきている。

小金井市内の状況においても、先月よりも今月のほうが既にペースとしては増えているような状況もあるので、今回のこの講座に関して、各市の方もいらっしゃいますので、後でもってやっぱり講座についての、それをやらなかったほうがよかったねとかということではなくて、しっかりこれを成功させるためにも、検温をきちんとやってというところでは、来る方も御理解いただけると思っていますので、そういう形でやっていきたいなというふうに思っております。

福井委員 分かりました。

藤本生涯学習部長 ただし、必ずこの講座には検温しなければならないということではないんですが、感染拡大防止に努めなければならないということは一緒なので、そういう形では、今回担当のほうでは全員を一応検温するという形で考えているということです。

原田議長 これ時間も午後からですので、朝起きたときに平熱でも昼に37度になっているということもあり得ますので、では、検温をいたしましょう。そうすると、受付2名と、あと健康チェック係1名ということで、受付に3名配置するというので、その健康チェック係は体温を測り、それからマスクを確認するということをやっていたくことですね。

その下に、1階会場案内1、2名、3階会場案内1、2名とありますが、これそれぞれ1名ずつにしましょうか。1階会場案内というのは、初めて会場にいらっしゃる方がいらっしゃると思いますので、ここですよということを御案内していただく。3階に上ってくださいと。それから、3階の会場案内は、それぞれ各市の座席が決まっていますので、受付を通った方を御案内すると。これは椅子のところに市の名前が貼ってあるという感じですか。

小堀生涯学習係長 はい。

原田議長 見取図も配られますね、何市はこの辺ですよというのは。毎回そういうのはもらえる。

小堀生涯学習係長 席に貼ってあったほうがいいですか。

原田議長 あったほうが分かりやすいよね。

小堀生涯学習係長 はい、分かりました。

原田議長 それを基に、会場案内係はあそこですよというふうに御案内していただくということです。それぞれありますけれども、立候補というかこちらをやりませうという方いらっしゃいますか。
福井さん。

福井委員 私は、3階案内係を担当したいです。

原田議長 会場案内。

福井委員 はい。

原田議長 1階の玄関でお迎え、御案内する係は。では、所先生、お願いいたします。残り少なくなってまいりましたが、受付3名、残りの方ということでよろしいですか。では、石原委員、諏訪委員、それから森本委員。長坂先生はお時間にいらっしゃっていただければ結構でございます。

原田議長 それでは、受付、石原さん、諏訪さん、森本さんということでお願いします。体温を測るのはどなたにしますか。

森本委員 私にさせていただきますか。

原田議長 では、受付、名簿チェック係が石原さん、諏訪さんということで

お願いいたします。1階の会場案内が所さん、3階の会場案内が福井さん、人形体験が富田さんということで、富田さん、人形体験係。

富田委員 それは始まってからだから、受付の1階は1人でいいですか。

原田議長 人形体験が始まるまで何もすることがないので、1階の御案内をお手伝いいただけますか。

富田委員 はい。

原田議長 では、所先生と富田さんには1階で御案内いただくということでお願いします。

それでは、役割分担が決まりましたのでよろしく申し上げます。それから、城さんに司会をしていただきます原稿も出来上がっておりますね。

小堀生涯学習係長 はい。読んでいただいています。

原田議長 これについては、何かありましたら小堀さんとやり取りをしてください。

そのほか、当日に関して何か御質問。

どうぞ。

福井委員 各市のブロック会議に行く自分の市のインフォメーション的なもののパンフレットを渡しているケースもあるんですけども、たまたま今お手元に配ったのは私が持ってきたんですが、観光まちおこし協会が先月発行したばかりの、一般的に言うてくマッパなんですけれども、これを見開きのものを当日の参加者に渡していただいて、こういうところがありますからということで司会者のほうからワンポイント御紹介していただければ、後日また小金井市のまちめぐりに参加していただくケースも出てきますので、紹介チラシもお配りしたほうがいいんじゃないかということで、まちおこし協会にはしっかり部数ございますから、参加者の人数分を配付していただいて、小金井市をより知ってもらおうということで、お配りしてもいいかなということで提案したいと思います。

原田議長 これは、観光まちおこし協会が発行しているものですね。

福井委員 先月発行したばかりです。

原田議長 これは初めていらっしゃる方に参考になる、よくまとまった資料
ですものね。

 これは、必要な場合は観光まちおこし協会にもらいに行くという
ことですね。小堀さん、ちょっと御検討いただけますか、お土産を
兼ねたような資料ですけれども。

小堀生涯学習係長 そうですね、特段配ることに問題がなければまちおこし協会か
らいただいております。

原田議長 では、よろしくお願いいたします。

 当日の配置がテーブルのない椅子だけの配置なものですから、あ
まりたくさんにならないと思いますけれども、そこも検討していた
だいて、いつものブロック会議だとビニール袋にたくさんくれたり
するんですが、それちょっと置くところがないとあれですからね。
はい、どうぞ。

富田委員 あと、備品関係で、プロジェクター等の準備等でインフォメーシ
ョン的なものを使われるかどうか確認しておきたいと思うんです
けれども、いかがでしょうか。

小堀生涯学習係長 今回、各市の発表は時間を短縮するというので、パソコンと
かを使って映し出すようなことはなるべくなしで、口頭での発表と
いうことでお伝えしているので、映像を使うのは、講師の方が使わ
れるところだけだと思うんですけれども、一応そちらとは、パソコ
ンの確認とかプロジェクターは市のほうで準備をさせてというと
ころは確認しています。

富田委員 はい、分かりました。

原田議長 よろしいでしょうか。それでは、22日、来週の日曜日ですね、

そうか、もう1週間切っているんですね、ということで、それぞれの係、よろしくお願いいたします。

それでは、議題3、その他の議題は何かありますか。ありません？

小堀生涯学習係長 はい。

原田議長 それでは、報告に参ります。

報告事項まず1番目、第3ブロックの研修会の報告。福井さん、これはオンラインで参加されたんですか。

福井委員 では、私から説明します。

原田議長 お願いします。

福井委員 お手元の資料4なんですけれども、第3ブロック、2日前の11月14日に参加してきました。主催の市は町田市で、参加市の第3ブロックの市は八王子・町田・日野・稲城・多摩市の5市です。市外からは小金井市が私と青梅市の方が参加されました。合計35名で、5市の社会教育委員、町田市の社会教育委員含めまして28名です。あと職員が5名、あと講師が2名で、社会教育委員の28名のうち12名がオンラインで参加されておりました。

内容的には、第3ブロックの研修テーマということで、「つながりでいいことふくらむ地域社会～コロナ禍での活動を通じた学び～」ということで、講演会を第1部にて実施しました。

第1部は、全て第2部もそうですけれども、対談形式で実施されたということで、我々の参加したところは1つの会議室を使いまして、あと講師及び対談形式及び来賓の方は、また隣の会議室で隣り合わせで、パーティションで仕切った格好でやったということで、我々自体が直接講演会を聞くわけではなくて、右上の写真があります。液晶画面みたいな格好のオンライン形式で参加者は受講したというのが右上の写真です。あと、一番下の真ん中のところ、写真もそうですけれども、対談形式の紹介をこの画面で参加者は聞いて、あと質疑応答等があればその参加者がメモをして、隣の主催者の講師及び対談者にそのメモを持って行って回答していただいたということで、2部屋に分かれて運営したというところなんです。

中身的には、1番のところ、西行さんという方で、らぶふぁみ事務局の代表の方なんですけれども、生涯学習センター、小金井市でいうと公民館に該当するんですが、この中の家庭支援学級講座に参加された5名の方が、若いお母さんたちが活動するにしても、いろいろ生活不安等相談したい窓口のところは行政を含めて民間団体はあるんですけども、一つまとめたものとしてフリーマガジンを作っていて紹介したらいいんじゃないかということで、3年前に年2回、3月、9月でフリーマガジンを作りました。発行部数は、スタートの創刊号が4,000部だったんですが、今現在は1万3,000部を無料でフリーペーパーとして配付しています。

これは、一部職員のほうに渡しましたけれども、こういうフリーマガジン雑誌です。しっかりしたカラーで作られていて、例えば、町田で産んで、町田で育てる～市民病院でお産～とか、あと女性特有のがんの検診とか、あと子供に優しい飲食店の紹介等がされているということで、健康、子供、若いお母さん、子育てのお母さんのフリーマガジンと。それで団体とか講座があるんですけども、これを1冊持っていればもう年2回発行されていますから、改訂版、改訂版で新しくなっていて、子育てのお母さんが分かるということで、しっかりスタートしたと。

それで一番苦労したのは、この編集事業も当然素人ですから、いろいろ協力を得たということと、このフリーマガジンのスポンサーとして一切補助金をもらっていないそうです。あくまでも本人たちが市内の企業に回って、ここに掲載されているだけでも17社ほどスポンサーがついていますけれども、そのスポンサーの寄附によって発行しているということで、会費もなく、年会費もなく、あくまでもスポンサーの寄附金に基づいて運営しているということで、非常に好評だということで、若いお母さん及び子供に優しいというような趣旨で説明していただきました。

また、子供だけのイベントということで、こういうチラシ等を作られまして、子供の地域をつなぐということで、ギャラリー展という展示会等も運営されているということで、非常に活発的に、小金井市もぜひ見習うような窓口的な運営をされている団体だと思います。それが1つ目の対談形式でやりました。

2つ目は、やはり町田の活性化事業に等しいんですけども、組織と人をつなぐ中間支援組織ということで、やはりこれも3年前ぐ

らいに立ち上げたばかりなんです、例えば、ここに書いています「まちだづくりカレッジ」、「まちだづくりサロン」、「まちカフェ」という格好でイベントとかというものを民間団体と行政と、あと市民をつなぐようなコーディネーター的な役割がこの代表の方なんですけれども、こういうまちカフェでも立派なものを作られたり、イベントの開催等もこういうチラシを作られています。

小金井市がこの中で見習うことは、オンラインのイベント事業をしっかりとやっているということです。小金井市は、公民館にお願いしても成人学校等もオンラインで市民に開放してもいいんじゃないかということなんですけれども、なかなかソフト面、ハード面でハードルが高いように回答はいただいているということで、残念ながらオンラインのリモートを含む市民への講座というのはまだまだゼロだと思います。町田市ではもう12月だけで10項目のオンラインで市民に公開している事業がしっかりあるということで、これは氷山の一角ですから、もう30、40ぐらいオンラインで市民に対して、いろいろ公開講座を含めて、イベントを含めてやっているということです。そういうコーディネートが第2部のお話の内容だということで、非常に参考になることを学んできました。

以上です。

原田議長

ありがとうございました。これについて何か御質問等ございますか。よろしいですか。

それでは、その他のところで、今後の日程です。今の紙の裏面、資料5を御覧ください。

では、小堀さん、お願いします。

小堀生涯学習係長 第6回の会議について、計画のパブコメ前の会議ということでやらせていただきたいと思っているんですが、12月は議会が予定されているので、日程については申し訳ないんですけれども、今まだちょっと調整中です。決まり次第、御連絡します。

そして、7回、8回についても1月、2月で1回、日にちを決めさせていただいてはいたんですけれども、パブコメの時期に合わせて少しずつできるようになるかなと思っていて、1回ちょっと未定ということにさせていただいております。

それと、日程とは違うんですけれど、成人式の関係で、例年は皆

さんにはがきをお出しして、第1部、第2部出席可能か欠席かどうかというのを伺っていたんですが、今年度は5部制ということで、中学校区ごとになっていまして、密を避けるということで、来賓の方の人数も少なくさせていただく予定でおりまして、社会教育委員の会議からも各回1名ずつということで決めさせていただこうかと思っております。もしこの段階で1部から5部まで、口頭で申し訳ないんですけども、1部が10時半から11時、該当が緑中学校区、2部が11時35分から午後0時5分で第一中学校区、0時40分から1時10分が南中学校区、4部が1時45分から2時15分、第二中学校区、最後が2時50分から3時20分、東中学校区で、この中で出席可能な日程等がありましたら調整いただいて、もし今日決めていただければよいようにしたら、今日お願いしたいと思えます。

以上です。

原田議長 ただいまの成人式の件ですが、先日の小委員会で、小委員の中でまず出られるところはないかということで、次の枠が仮に入れています。

1番目の10時半からの回は原田が出席できます。それから、3番目の12時40分からの枠が城さん。ただ、城さんは1日中お花の係でいらっしゃるの、どの時間帯でもオーケーと、取りあえず第3部の12時40分に入っていると。それから、福井さんが最後の第5枠です、14時50分。その3枠が今、仮に入っておりますが、この残り第2部の11時35分の回、それから午後の2部、13時45分の回、ここだったら出られますという方いらっしゃいますか。

富田委員 いいですか。2部で参加できます。

原田議長 2部は富田さん、お願いします。

富田委員 はい。

原田議長 4番目の13時45分の回ですが、どなたかいらっしゃいますか。森本さん、いかがですか。

森本委員 はい。

原田議長 では、森本さん、お願いいたします。

森本委員 はい。

原田議長 それでは、1部、原田、2部、富田さん、3部、城さん、4部、森本さん、5部、福井さんということで決定をいたしますので、よろしく申し上げます。

これ、日付は1月11日でしたっけ。

小堀生涯学習係長 はい、そうです。

原田議長 次回12月の委員会の日程についてはそれでは追って御連絡はいただくということですよ。

小堀生涯学習係長 はい。

原田議長 12月はもう来月に迫っていますので、なるべく早く決めていただければ、皆さんもお忙しいでしょうから。

小堀生涯学習係長 すいません。はい、分かりました。

原田議長 一応以上で終わりますが、報告事項でほかに何かありますか。よろしいですか。

全体を通じて何か皆さんのほうからありますか。

石原委員 すいません、ちょっと市のほうにお聞きしたいことがあって、来年度、コミュニティ・スクールがほかの学校にも入ってくるというのを小学校、中学校のほうで話題に上がっているんですけども、来年、小中学校に入るといのがもう決まっている学校があるのかどうかということと、どういう手順で進んでいくのかということのをちょっとお聞きしたいなと思ひまして、それも急に来年になって言われる学校はちょっとびっくりしちゃって、どうにもこうにも動けない

のかなというのがありまして、所先生のところも1年かけて準備をしているというところもあるので、進んでいるようならどのように今進んでいて、どのように学校に伝えてというふうになっていくのかというところをもしお聞かせいただけたらうれしいなと思っております。

原田議長 それでは、部長からあるいは課長から。

関生涯学習課長 生涯学習課長です。今のコミュニティ・スクールのお話ですが、緑小さんについては初めてということもあったので、準備期間等が含まれて調整されながら進めてきたところですが、それを踏まえて、将来的には全市的に広めていくという中で何学校かはやるということは生涯学習部でも承知おきはしております。

手順については、恐らく準備が整った、体制が整った学校からということで、学校から来年度はできそうだというような申入れということと、実際に今、事務局になっているのは指導室ですので、これは調整しながらやってきているというふうに私は認識しております。お互いの条件が合ったところからというふうに私は認識しております。

原田議長 よろしいですか。

石原委員 学校側と指導室のほうが連携して、じゃあ、あなたの学校お願いしますという形になって、そこから学校側がPTAなり保護者なりにお知らせする的感觉で進んでいくという感じですか。

関生涯学習課長 すいません、コミュニティ・スクールの手順ってちょっと具体的にどのような予定なのか私も言えないんですけども、基本的には学校と教育委員会、指導室の中で話し合った中で条件が整って、来年できそうだと、あとの手順はPTAなり何なり周知というのは、まだこの段階で確定的なことは言えないとは思いますが、ただ、内々には話は進めているのかなとは思っております。

石原委員 それはこちらに情報としてそのうち下りてきて、そのうち、また話があると考えていいってことですよ。

関生涯学習課長　そうですね、はい。

石原委員　分かりました。ありがとうございます。

原田議長　ありがとうございました。
ほかに、福井さん。

福井委員　福井です。

直接今日の会議以外で、藤本部長が参加していただいていますから、ちょっとコロナウィルスの件の委員会の委員も担当されているということで、1点だけちょっと確認させていただきたいんですけども、昨日現在、小金井市内で153人の感染者がおられるということで、ホームページで毎日更新されていますから市民は理解できているんですが、市民の多くの方から、実際退院された方は150名ぐらいおられるそうで、常に10名から15名ぐらいが実際の感染者だということが認識できる数値が一切公表されていないから、単純に見れば150人今日現在でも感染者がいるんじゃないかというように誤解して理解せざるを得ないという意見が多々聞いていますから、できたら感染者が150名及び陰性に戻った方が140名とかということを明記していただければ、実際の今日現在の感染者が12名だよとかということが分かるということで、ひとつそういうところも委員会でもんでいただきたいのが1つ目です。

あと小金井市で死者は実際、私も8月、9月から聞いていますけれども、死者が発生しているということで医療機関関係者から聞いているんですが、実際、小金井市の死者数が公表されていないということで、できたら、毎日感染者みたいな表現は必要ないかと思うんですけども、できたら東京都から小金井市の死者数が分かれば、月単位で結構だと思うんですが、8月に2名、9月に1名とかそういう公表もお願いしたいという意見も市民の声から聞いておりますから、ぜひ藤本部長は委員会の委員ですから、1つ御検討していただければと思います。

以上です。

藤本生涯学習部長　今、福井委員がおっしゃいましたように、小金井市はこのとこ

ろまた何人か増えてきているという現象があって、今月に入って既に十五、六人出ているのかな、直近ではこの土日ぐらいで5人ぐらいは増えているのかなというところです。今150数名ということで、東京都の発表している数字のほうには、そのうち退院した人の数字も入っていますので、実際には今入院されている方が約10名ぐらいだというのはその差引きで分かるということになります。

小金井市のホームページのほうでも一応感染状況というか、そちらのほうでも毎日更新しているものがありまして、そちらのほうに退院者数も多分載っていると思います。

福井委員 ちょっと私は人数だけしかチェックしていないものですから、退院者数までは。

藤本生涯学習部長 退院者数が出ていますので、実際は感染者が、今入院されている方というところでは10人ぐらいかというところはそこでもって読めますので、そちらは公表できる数だと思いますが、死者数等については東京都全体のほうでもどのように取扱うかというくくりになっていますので、各保健所だとか東京都全体の管轄になりますが、どういう判断をするかというところに市のほうも従っているということになりますので、ただ、そういう意見があったということは本部のほうでも発言したいと思います。

福井委員 お願いします。

原田議長 よろしくをお願いします。

それでは以上で、議題、報告、全て終わりました。第2ブロック研修会についてはコロナの状況が現状のままであれば予定どおり開催、万が一、この1週間で緊急事態宣言等が発出されたということになると、ちょっと開催できない場合もあり得るということです。今のところ予定どおりやるということによろしいですね。

藤本生涯学習部長 そのとおりです。今おっしゃったとおりで、第3波と言われていの中で、一応注視はしております。ただ、現状は行うということで、万が一、何かできないような要因が発生した場合には速やかにもう中止ということも視野に入れて対応したいと思います。

原田議長

分かりました。それでは、本日はこれで終了です。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。